毎月5日・15日・25日発行（ただし1月5日、5月5日、8月15日は休刊）　ISSN 1881－4417

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO　2026年（令和8年）10月25日号　No.2038

目　次

連邦下院選後のロシアで内閣改造 …… 1
『ロシアNIS調査月報』2026年11月号のご紹介 …… 7
エトセトラ …… 8
「第9回日本カザフスタン経済官民合同協議会」開催のご案内／8
トピックス …… 8
基礎地盤コンサルタンツ、モンゴルの研究機関とMoU締結／8
JALUX、ウズベキスタンの新国際空港事業に出資参画／8
EU、対ロ制裁回避で12個人・団体を追加指定／8
米国、対ロ制裁法の実施見送り／9
日本TOYO、ウクライナのドローン関連企業とMoU締結／9

連邦下院選後のロシアで内閣改造
―連邦副首相の交代が映し出す政策の方向性―

（一社）ROTOBO ロシアNIS経済研究所　次長
中馬　瑞貴

はじめに

2026年10月19日、ロシアで内閣改造が発表された。ミシュスチン首相は、シルアノフ財務大臣を副首相兼任とし、ニキーチン運輸大臣、オクラドニコヴァ財務省第一次官、コジェミャコ沿海地方知事を新しい副首相に提案。さらに、ニキーチン氏の後任として、ヤドロフ連邦航空輸送庁長官を大臣に昇格させる人事をプーチン大統領に提案した。プーチン大統領との審議を得て、内閣改造案は連邦下院で21日に全会一致で可決され、22日に大統領令で承認された。

今回の内閣改造のポイントの1つは財政部門の強化で、シルアノフ財務大臣の副首相昇格による権限拡大に加えて、彼の右腕として予算を担当していたオクラドニコヴァ氏が副首相に就任している。また、極東4地域で知事を務めた経験を持つコジェミャコ知事が極東連邦管区大統領全権代表兼任の副首相に就任したことも興味深い。

今回の速報では、新しい政府閣僚の人事に着目し、プーチン・ミシュスチン体制下のロシア内政の現状について改めて整理しておくことにしたい。